

第124回 東京医科大学病院 市民公開講座

PSA（前立腺特異抗原）が 高いと言われたら

PSAとは、「前立腺特異抗原、prostate-specific antigen」の略語で、前立腺の上皮細胞から分泌されるタンパク質のことです。もし、あなたが健診や検査を受けたときに、PSAの数値が高いと言われたら、前立腺のがん、肥大症、炎症などの可能性があります。そのPSAの数値によって、がんの確率もわかってくるのです。

今回、そのPSAが関わる前立腺の病気につきまして、泌尿器科 主任教授 大野芳正 医師が解説をいたします。

どうぞ皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。



■日 時：平成30年2月26日（月）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）



■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

 東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL